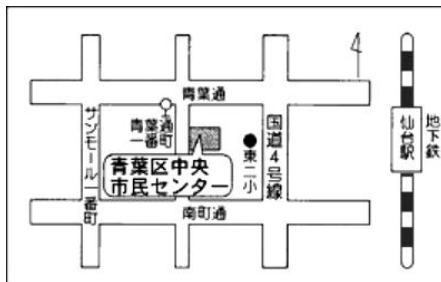


福島原発事故から女川即時廃炉を考える

- ◎福島はいま…危惧される子どもたち、報道されない事実
- ◎安全無視の再稼働、後退する危険さもある原発安全規制
- ◎東北地方太平洋沖の地震と津波の危険性…最新の知見は
- ◎女川原発の再稼働中止・即時廃炉を求める運動の重要性

講演 立石 雅昭さん

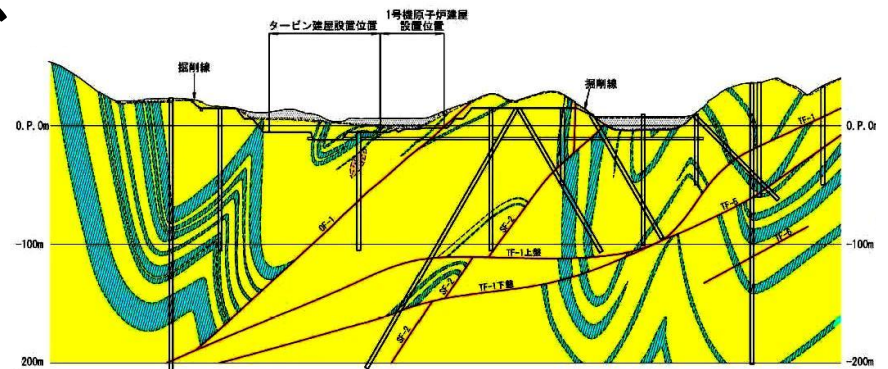
- ・新潟大学名誉教授（地質学）
- ・新潟県原子力発電所の安全管理に関する技術委員会委員



10月27日(土)14時開会
青葉区中央市民センター

女川原発再稼働中止 署名運動推進ニュース
No. 10 2012年10月5日発行
【発行】原発問題住民運動宮城県連絡センター
(022-234-1335 宮城高教組内)

図は、女川原発1号機の
建屋地下の構造



ご案内

東京電力福島第一原発の事故は未だ収束せず、事故の詳細と原因も未解明ですが、原発輸出・再稼働の動きは急です。福島の避難者を切り捨てる政府の動きのもと、全国的なメディアでは福島の実情の報道が希薄になりつつあります。

女川原発を抱える宮城の運動の役割と課題をあらためてとらえ直しましょう。総会の講演者として、地震などの原発防災に詳しい立石雅昭氏（原発問題住民運動全国連絡センター世話人）をお招きしました。講演は入場無料、誰でも参加できます。

講演会のあと、二〇一二年度総会を開催します。